

1

ドライバー/チーム監督資格
ドライバー登録数/連続乗車時間について

2

サーキットへの入場、駐車について
参加確認受付と、自動計測器（トランスポンダー）について
出走前説明（ドライバーズブリーフィング）の会場について

3

車両について

4

車両検査について

5

ゼッケン登録について

6

グリッド、および、スタートについて

7

ピットについて

8

給油と給油タイムハンデ、クラス別タイムハンデについて

9

サインガードについて
パドックについて
通信機器の使用について
クラス別タイムハンデについて-2

10

ピットレーン進入について
ピットアウトについて
ゴールについて
ペナルティについて
スリックタイヤの使用について

11

ポイントについて
その他注意事項について

12

リレー耐久について

Endurance
Conventions

■ ドライバー/チーム監督資格

ドライバー/チーム監督としての心得

- ドライバー/チーム監督は普通運転免許証を保持している方。JAF/A・Bライセンス、サーキットライセンスなどは一切必要ありません。ただし、idlersGamesの趣旨に共感できる、大人のエンタラントであることが必要です。
- ドライバースブリーフィングには、登録ドライバー/チーム監督が必ず出席してください。ブリーフィングにはサーキットを安全に走る上で、絶対必要な項目が含まれます。不参加の場合、出走が認められない場合があります。また、当日のみの特別ルールなどがある場合も、ブリーフィングで説明します。
- 体調が優れないなどの場合は無理はせず、リタイヤをする勇気を持つことが大切です。
- ドライバー/チーム監督はメカニックやサポートクルー、応援の方など、自己のクルーの行動に責任を持ち、危険な行動や危険な場所に立ち入らないよう、指導してください。また、関係者全てにルールが適用されますので、サーキットへはじめておいでになる応援の方などへもルールを徹底指導する必要があります。自己の仲間のルール違反は、チームの責任となり、チームにペナルティ、または、失格などの処分が課せられます。
- ドライバー/チーム監督はフラッグの色と意味を、記憶、理解している事が必要です。フラッグの色と意味を記憶、理解されていない方の走行はお受けすることができません。
- ドライバーは、走行中にアクシデントなどが発生した状況などを想定し、対応方法や脱出方法などをイメージトレーニングするよう心掛けてください。
- ご自身以外のチームの方や関係者の方が間違った行動などをとっていた場合、何がいけないのかを教えてあげましょう。また、ルール違反を発見した場合は速やかにオフィシャル、または、開催事務局へ報告をしてください。危険行為なども同様に報告をお願いします。

服装(クラスにより規定が異なる場合があります。車輛規定も同時に必ず確認してください)

- ドライバーの服装は、綿100%の長そで、長ズボン、指先までおおうグローブ、ヘルメット、運動靴が最低条件です。2レイヤー以上のレーシングスーツ、グローブ、シューズを強く推奨します。
- ノーメックスなどの耐火性のアンダーウェアの着用を強く推奨します。ジェット型ヘルメットを使用の方は必ずフェイスマスクを着用してください。
- 筑波サーキットにおいては、練習会以外の走行時はレーシングスーツの着用が必要です。シングルレイヤーでも可。オープンカー、グラストップ、Tバールーフ車輛で6点式以上のロールケージを装着していない場合は、フルフェイスのヘルメットの着用が必要です。ジェット型や半キャップ、工事用の安全ヘルメットは使用できません。

■ ドライバー登録数、連続乗車時間について

ドライバー数

- ドライバー交代時はエンジン停止が義務となります。ドライバー交代時、ピットエリアに出てマド拭き、エアーチェックなどが行える作業員の数は、交替するドライバーも含め4名までです。(リレー耐久は5名まで)
- 登録できる人数はイベントごとの案内で、確認してください。

乗車時間

- 1ドライバーの連続乗車時間は、イベントごとの案内で確認してください。
-

■ サークットへの入場、駐車について

- 車輛通行証は、サーキットへの入場証になっています。必ず入場前に、フロントウィンドウに貼り付けてください。(サポートカーやトランスポーター用の車輛通行証も同様です)
- 車輛通行証がない車輛は、サーキットへの入場料が(駐車料)必要となる場合があります。
- 車輛通行証は競技車輛1枚、サポートカー/トランスポーターについては90分耐久で3枚、それ以上の耐久についてはイベントごとの案内で確認をしてください。

パドックパスと駐車位置

- パドックパスは1エントラントにつき、3枚発行します。(長時間耐久を除く、また、イベントにより異なる場合があります)
- 競技車輛、サポートカー、トランスポーターなどの駐車位置、および、待機位置については、Gamesごとのパドック表と当日のスタッフの誘導に従ってください。
- 第一パドックへ駐車可能のサポートカーはワンボックスサイズまでです。キャンピングカーやトランスポーターなどの大型車は第一パドックへ進入、駐車することができません。(イベントにより異なる場合があります。また、進入券を使用した場合はこの限りではありません)

その他

- サークット内でトランスポーターより競技車輛の降車を含め、エンジンへの点火をご遠慮ください。周辺住民の方への騒音公害となるばかりでなく、苦情により、イベントの開催そのものが危ぶまれます。また、遠方よりお越しの方が、受付時間まで仮眠をされている場合もありますので、ご理解とご協力をお願いします。
- サークットでは、午前8:00より走行可能という指示となっています。それ以前のエンジンの空吹かしやパドック、外周路、ゲート前スペースなどにおける走行や空吹かしを行わないようにしてください。

■ 参加確認受付と、自動計測器(トランスポンダー)について

受付/抽選

- エントラントは指定された時間内に、参加受理証をお持ちになって、事務局テントで受付を済ませてください。(時間は別紙タイムスケジュールで確認してください)受付時にグリッドの抽選を行います。
- 参加申込受付後、お送りする書類一式が入っている封筒が参加受理証になります。忘れずにお持ちください。

自動計測器(トランスポンダー)

- 計測器は、受付時にお渡しします。必ずお受け取りください。
- 競技終了後は、すみやかに計測器の返却をお願いします。また、決勝終了後15分以内の返却にご協力をお願いします。
- 万一、計測器を破損、紛失してしまった場合は実費を頂く事になりますのでお気をつけください。
- 事故などにより、ドライバー本人が返却できない場合は、メカニックやサポートクルーが責任を持って返却するようにしてください。

■ 出走前説明(ドライバーズブリーフィング)の会場について

- ブリーフィングルーム、または、ブリーフィング会場にて行います。ドライバー、チーム監督は必ず出席をしてください。長時間耐久の場合ドライバーは、第一ドライバーのみでもかまいません。
-

■ ■ 車輛について

車輛装備(クラス分けや車輛規定については別ページで確認してください)

- 競技参加に対して、適正な整備がされた車輛であることが必要です。オイル漏れなどには特に注意してください。
 - ゴム類やプラスチック類は経年劣化により、突然、破損する場合があります。キズやヒビ割れが確認できなくても、定期的に交換するようにしてください。
 - 3点式以上のロールケージの装備を強く推奨します。(クラスによっては装着が義務)
 - シートベルトは4点式以上のフルハーネスを強く推奨します。(クラスによっては装着が義務)
 - 内容量1.5Kg以上の消火器を車載する事を強く推奨します。
 - 燃料タンクを改造・変更する場合は、安全タンクへの変更のみ可です。その際、タンクスペースは、コックピットと隔離してください。安全タンクへの変更を強く推奨します。
 - 前後に牽引フックを必ず装着してください。装着されていない場合は、その他の部分で牽引する場合があります。車輛にキズや損傷を与える場合がありますが、オフィシャル、事務局では責任を負えません。速やかに牽引し、競技再開させるためには、牽引フックの装着は絶対に必要です。皆様の走行時間を守るためにも100%の装着をご協力ください。
 - ノーマルタンク車はガソリン給油口を、ビニールテープで巻く処置を必ず行ってください。
 - 走行時間が日没や夜間の場合、または、悪天候の場合ライトオンの指示が出ます。ヘッドライトは点灯できるよう、整備をしておいてください(ロービーム)。また、ヘッドライトの同時点灯は2灯までです。フォグランプなどの補助灯を使用する場合は2灯まで。ヘッドライトと合わせて4灯までです。
 - タイムスケジュールに記された時間内で、車検を行います。検査時間開始までに、テーピングなどの準備を完了させておいてください。
-

■ 車輜検査について

- 車輜検査はタイムスケジュールにそって車検場、または、出向車検にて行います。検査を受けて合格しないと走行ができません。
- 耐久の場合、通常の車輜検査の他に給油のための装備の検査も行います。人数分の耐火マスク（ドライビングマスク可）、耐火服（レーシングスーツ可）、耐火グローブ（レーシンググローブ可）、ガソリン携行缶、コック付きの耐油ノズル、アースコード、内容量3Kg以上の有効期限内の消火器、ストップウォッチなどです。これらが揃わない場合、走行を認めることができません。
- 12時間耐久以外は全ての車輜がピット給油となります。給油装備は必須条件です。

燃料関係について

- ガソリンの初期搭載量は全車45L以下です。
- 検査時に搭載量を確認しますので、ノーマルタンク車輜の場合は全タンク量が確認できる書類を検査官に提示してください。（車輜検査証など）燃料メータの作動不良、書類不備、メカニックがないからわからない、たった今突然に燃料メータなどが動かなくなってしまった、搭載量が不明確などの場合は周回数を5周減算とします。
- 車検官の判断により、燃料を抜き出し確認させていただく場合がありますので、抜いた燃料を保管するための携行缶の準備も行ってください。
- ATL製などの12ガロン以下の安全タンクや、全容量が45L以下のノーマルタンク車輜（例：Kカーやオールドミニなど）は搭載量の省略を行う場合があります。
- 車輜検査を受け、合格の確認表を貼付けられた後、競技開始後、ピットに戻ってくるまで給油は一切行なえません。
- 検査後、競技開始前に給油を行うという事は初期搭載量がオーバーします。発覚の場合、失格などのペナルティが課せられます。

検査のための準備箇所

- ライト、レンズ類へのテーピング（ライトリムまでテープをかける）、バッテリーのプラス端子、ブレーキシリンダーオイルケース、クラッチオイルケース、ホイールのバルンサーなどにも、テーピングしてください。ホイールバルンサーはガムテープやアルミテープを使用し、ライトやレンズ類へのテーピングは透明の幅の広いビニールテープを使用してください。テーピングのためのビニールテープやガムテープなどは、事務局でご用意しません。
- 一部車輜において、ヘッドライトなどが強化プラスチックなどで作られていますが、大きな面積になりますので、ガラスでなくとも必ずテーピングをしてください。テールレンズも同様です。これは落下、飛散防止の意味があります。他のイベントではプラスチック類へのテーピングを省略しているから、とテーピングを拒否される方がいますが、その場合、出走を認めることができません。
- ゼッケンは左右のドアと、ボンネット、リア（小さくても可）に、ビニールテープで4辺を確実に貼付けてください。他のゼッケンが貼付けてある場合は、見えないようにカバーをしてください。また、雨天の場合、ビニールテープやガムテープは極度に剥がれやすくなります。貼付け時に水滴をよくふき取れば、落下をふせげます。ゼッケン落下はペナルティの対象になります。
- 走行が夕方から夜間にかかる場合や雨天の場合はライトオンの指示が出ます。ライト類へのテーピングを、透明のビニールテープにする必要があります。

■ ゼッケン登録について

登録

- 先着順にて各クラス共、希望のゼッケンナンバーを登録することができます。
- ゼッケンナンバーは3ケタまでの番号が使用、登録できます。
- 一度登録されたゼッケンは、解除のお申し出がない限り、使用し続けることができます。ただし、特例を除き、1年以上不参加の場合は、自動消滅となります。
- 希望ゼッケンナンバー、チーム名がすでに登録されている場合は、他のナンバー、チーム名へ変更して頂くことがあります。
- idlersclub以外のサーキットイベントなどで、長年使用されているゼッケンナンバーやチーム名をお持ちの場合でも、idlers Gamesの中では、あくまでも先着登録となりますので、ご了承ください。
- すでに登録されているゼッケンナンバーでも、他の方よりのお申し出があり、登録車両がそのイベントで欠場の場合に限り、使用を特に認めます。
- 混走耐久の場合、登録ゼッケンはミニのチームを優先とさせていただきます。
- 混走などで登録ゼッケンが使用できない場合があります。その場合は事務局でゼッケンをご用意いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。
- シリーズ途中でのゼッケン、および、チーム名の変更を行う場合、ポイントの引き継ぎはできませんのでご注意ください。

ゼッケン制作

- 登録ゼッケンはご自身での制作となります。事務局では用意しませんので、ご注意ください。
 - ゼッケン制作をする場合は、縦50センチ以上、横50センチ以上の白色のゼッケンサークル内に納め、その中で可読性を考慮した上で、最大の大きさの算数字を用意してください。算数字の太さは3センチ以上をお願いします。
-

■ グリッド、および、スタートについて

- スターティンググリッドは、受付時に抽選で決定。
- グリッド整列時には、ご自分のチームの車両誘導にご協力ください。
- スタート方法は、Gamaesごとの案内で確認してください。(ル・マン式、セミ ル・マン式、 ローリングなど)

スタート方法例

■ ル・マン式

ドライバーは車両が整列されている、コースの反対側に待機します。この時ヘルメット、レーシングスーツ、レーシングシューズ、レーシンググローブは着用しています。車両側にはサポートクルー1人が待機をします。フラッグタワーより、スタートの合図となる日章旗、またはグリーンフラッグが振り降ろされる、または、ブルーシグナル点灯で、スタートとなります。コースの反対側に待機しているドライバーはスタートと同時に車両へ走り、クルーのサポートを受け、車両へ乗り込み、エンジンをスタートさせます。サポートクルーはすみやかにサインガードの内側へ退避します。

■ セミ ル・マン式

ドライバーはサインガード側に整列された車両内に待機をし、コース反対側にはサポートクルーが待機します。その際、サポートクルーはドライバーの右側のレーシンググローブを持って待機します。日章旗、または、グリーンフラッグが振り降ろされる、または、ブルーシグナル点灯でスタートとなり、サポートクルーは車両へ走り、待機しているドライバーへレーシンググローブを渡します。ドライバーは渡されたグローブを完全に装着した後、エンジンをスタートさせます。サポートクルーはすみやかに、サインガード内へ退避してください。

■ ローリングスタート

グリッド整列後、セーフティカーの先導により、コースを1周まわります。ホームストレートに戻り、セーフティカーがピットインし、フラッグタワーより日章旗、または、グリーンフラッグが振動表示され、同時にブルーシグナルも点灯されていたら競技開始です。ただし、フラッグタワーを通過するまでは追い抜きは禁止です。

- 事前時間表示については、当日のドライバーズブリーフィングで説明します。
-

■ピットについて

ピットレーン制限速度

- ピットレーンを走行する競技車輛の制限速度はもてぎ、つくばともに40Km/h以下とします。(イベントにより変更がある場合があります)速度超過の場合は、ペナルティの対象になります。

ピットレーン進入

- ピットレーンへの進入は右ウィンカーを点滅させ、ピットレーン入口より進入します。本コースからのイエローラインカットはペナルティの対象になります。
- ピットレーンは一方通行です。特例を除き、バックをすることができません。バックギアを使用し、ピットレーンを逆走した場合、そのチームは失格となります。
- 走行路は、1番コース寄りとします。ピットゾーンへの進入の場合、ピット最近部からピットゾーンへ向かってください。
- ピットレーン・サインガード付近では、安全のため、手持ちの傘などを使用することはできません。

ピットアウト

- ピットアウトの際は、ピットロードエンドにいるオフィシャルに従ってください。ピットアウトして、コースへ進入した時の第1コーナーは、必ずインペタで走行してください。
- ピットアウト時、特例をのぞき押しがけはできません。
- エンジンが始動しない場合、押しがけはできません。バッテリーなどを用意し、ジャンプコード接続によって始動させてください。

ピットガレージ内

- ピットでの作業において、エアージャッキ、エアインパクトレンチ、電動ジャッキ、電動インパクトレンチなどの自動工具の使用はできません。全て、マニュアルでの作業としてください。タイヤへのエア注入、ホイールを外すためなどのインパクトレンチの使用は認めます。(ホイール装着などはマニュアル作業とします)
- ピットは共有です。譲り合いながら、使用してください。
- ピット内において、高音、高熱を発生する機器の使用は禁止します。
- ピット内は火気厳禁です。喫煙などは灰皿が設置されている、喫煙スペースをお願いします。
- ピット内に搬入した競技車輛はキーをつけたまま、ドアをロックしないでください。

ピット前、ピットレーン、ピットガレージ、ピット裏作業

- スペアタイヤの本数制限はありません。
 - 競技中のエンジンの載せ換えは自由。その際は大会事務局へ届け出てください。エンジン換装の場合、同排気量以下、同チューニング仕様以下のものであれば可能です。
 - 消耗品についても交換自由。他車に注意し、安全を確保した上で作業を行ってください。
 - 作業をする場合は、監視員を設定してください。この場合、監視員は4名の規定外とします。ただし、監視員は車輛やドライバーに触れることを含め、一切の作業はできません。
 - ライトのバルブ、ジェット、プラグなどのスペアパーツの用意をお勧めします。ウエスやキャブクリーナーなどがあると便利です。
-

給油と給油ハンデタイム、クラス別ハンデタイムについて

- 使用するガソリン携行タンクはJAFレギュレーションに沿った、金属製のバルブ付きタンクを使用してください。ポリタンクなどは絶対に禁止です。また、各1チームにつき、1タンクのみ使用が認められます。予備タンクがある場合は競技終了まで事務局で保管させていただきます。
- 給油ノズルは透明でストップバルブ付きの耐油ホースのみ使用可能です。
- ちなみに、透明の耐油ホースはホームセンターや水道屋さんで販売しています。ノズルとタンクをつなぐバルブも水道屋さんで手に入れます。また、モータースポーツショップなどでもストップバルブ付きのガソリン携行タンクは手に入れることができます。入手が困難な場合は、お申込時に事務局へご相談ください。販売、または、販売先をご紹介します。

給油方法

- 給油はピット給油です(イベントにより、ガソリンスタンド給油になる場合があります)。
- エンジン停止後、タイヤを完全に停止させ、ドライバーが降車したら、作業開始可能です。マフラーなどからボディアースを取ります(アースコードはジャンプコードなどで大丈夫です)。1人がタンクを抱え、もう1人がコックとノズルを操作し、さらにもう1人が、給油要員のうしろで内容量3Kg以上の消火器を噴射可能な状態で持ち待機します。
- 安全タンク装着車はサポートクルーがドライバー(工具)などで、安全タンクの逆止弁を開き、スムーズな給油を行うようにしてください。
- 1回の給油量は20L以下です。連続給油は行えません。連続給油を行う場合は必ず一度ピットアウトしてから、次の周でピットインして給油を行ってください。
- スタート時のガソリン積載量は、45L以下です。
- 給油要員は全員が耐火マスク(ドライビングマスク可)、耐火服(レーシングスーツ可)、耐火グローブ(レーシンググローブ可)を着用してください。耐火グローブのかわりに軍手などの着用はできません。
- 給油時ピットエリアに出られるのは5名までです(ドライバー降車がある場合はそのドライバーも含まれます)。
- ノーマルタンク車輻は給油後、必ず給油口をビニールテープで巻き、ガソリンの吹き出し防止処置を行ってください。ガソリンの吹き出しがあった場合、オレンジディスクフラッグにて強制ピットインとなってしまいます。

給油ストップタイム、クラス別タイムハンデ

- 給油時のストップタイムは基本的に1給油につき、3分とします。12時間耐久では5分とします。
- 給油ストップタイムは、車輻のタイヤがピットエリアに完全に停止し、エンジンストップをした時点から、計測開始となります。計測は事務局指定チームのピットクルー、もしくはオフィシャルが確認します。
- 事務局が指定したチームの計測を行なっていただく場合、計測作業が義務となります。計測作業を放棄した場合、そのチームは失格になる場合があります。
- 給油ストップタイム中は、ドライバー降車以外の一切の作業を禁止します。ドライバー乗車、マド拭きやエアチェックなどは給油ストップタイムを消化した後可能です。
- クラス別タイムハンデ消化中は、ドライバー交替のみ可能。それ以外の一切の作業は行えません。
- 計測用のストップウォッチのご準備をお忘れなく。
給油ストップタイム以外にクラス別ハンデタイムが設定される場合、(ハンデタイムはイベントごとの案内で確認をしてください)ストップタイムとハンデタイムを連続して消化することができます。どちらかのタイムを消化した後、もう片方のタイムを消化、という連続消化方法です。1つの時間内でのクラス別ハンデタイムの同時消化は行えません。
- タイムハンデ、ピットインチェック表は競技終了後、必ずトランスポンダーと共に事務局へ提出してください。提出がない場合、ドライバーの連続乗車時間や、給油回数が事務局で確認が取れなくなってしまうので、そのチームは失格となります。リタイヤの場合も必ず提出してください。提出は全チーム義務となります。

■ サインガードについて

- サインガード上に登ることはできません。
 - サインガード、および、サインガード前のガードレールなどに腰をかけることはできません。
 - サインガード、ピットレーンでは安全のため、手に持つ傘などを使用することはできません。
 - サインガードにおいて、テレビモニター、パソコン、ごく省電力の照明器具以外の電気製品の使用はできません。
 - サインガードエリアは火気厳禁です。食事はピットガレージ以降で。飲みものは特に認めます。
 - サインガードへはお子さんの単独、ペット、ピンヒールやハイヒール、サンダルなどを履かれた方の立ち入りを禁止します。
 - ピットレーンを横断する際は必ず、左右の安全確認を十分に行ってください。安全確認をおこたった場合や、危険行動と判断した場合はチームに対してペナルティを課せます。
-

■ パドックについて

パドックについて

- パドック内において、車輛テスト(ブレーキテストやウォームアップなど)は絶対に行わないでください。全ての4輪車輛、2輪車輛は最徐行を義務とします。
 - お子さんの単独での乗り物の使用は全面禁止です(キックボードやローラーシューズなども含む)。
 - 大人が乗物(自転車やスクーターなど)を使用する場合、最徐行を義務とします。
 - パドック内は全面火気厳禁です。喫煙は灰皿が設置してある喫煙スペースでお願いします。お料理などを行いたい場合は、消費電力を考慮した上で、ホットプレートや電磁調理器をご使用ください。電熱器、カセットコンロ、ガスバーナー、バーベキューなどの炭火、裸火は一切使えません。
 - パドック、ピットを含む施設内において、お子さんの手は保護者の方が絶対に離さないようにしてください。お子さんの行動に関しての指導、責任管理は保護者の方の義務とします。パドック、ピットは競技車輛が分刻みで移動をくり返します。大変危険な場所であるということを認識してください。また、お子さんに何が危険であるかを教えてあげてください。
-

■ 通信機器の使用について

無線機

- 無線機の使用は可能です。ただし、無線機の使用は無線免許保持者のみとし、無線使用と周波数を事務局へ必ず届け出てください。他チームと周波数が重なった場合は、周波数の変更をお願いする場合があります。
-

■ クラス別タイムハンデについて(12時間耐久を除く)

- 超長時間耐久を除き、クラス別ストップハンデ、クラス別減算周回などのハンデが設定されます。ハンデの設定内容はイベントごとの案内で確認をしてください。
 - クラス別タイムハンデ消化中はドライバー交代以外の作業は一切行えません。ドライバー交代のためのサポート作業をクルーは行えます。P-LAPの操作やマド拭きなど、いかなる軽作業であってもドライバー交代のための作業以外には行えません。
-

■ピットレーン進入について

- ピットレーンへは右ウィンカーを点滅させ、ピットレーン入り口より進入します。本コースからのイエローラインカットは、ペナルティの対象になります。
 - ピットレーンは一方通行です。特例を除き、バックすることはできません。バックギアを使用し、ピットレーンを逆走した場合、失格となります。
 - 走行路は、一番コース寄りとします。ピットゾーンへの進入の場合、ピット最近部からピットゾーンへ向かってください。
-

■ピットアウトについて

- ピットレーンエンドのオフィシャルの指示に従い、コース進入時の第1コーナーは、インベタで走行してください。
 - ピットアウト時、特例をのぞき押しがけもできません。
 - エンジンが始動しない場合、押しがけはできません。バッテリーなどを用意し、ジャンプコード接続によって始動させてください。
-

■ゴールについて

- フラッグタワーより、チェッカーフラッグを振動表示します。チェッカー後は全ポストで旗を静止表示します。スピードを落として、ピットインしてください。チェッカーを受けた後は追い抜きは禁止です。
 - ダブルチェッカーは失格になりますので、くれぐれも気をつけてください。また、オフィシャルの誘導がない場合、コースをショートカットする事はできません。
-

■ペナルティについて(主催者の注意により、実行されない場合もあります)

- 走行中、オイルの吹き出しなどにより、コースを汚すなど、競技に影響を与えた場合。
 - 車両異常、コースアウト、接触など、競技の中断をはじめ、競技に影響を与えた場合。
 - フラッグ無視、または気がつかなかった場合、ダブルチェッカーを受けた場合。
 - 危険走行とオフィシャルが判断したドライバーもペナルティの対象となる場合があります。
 - 該当チームのピットクルー、または、応援の方などによるルール違反が発覚した場合。
 - その他、本規定書に設定されたものに違反した場合適用します。
 - ペナルティを受けた方は、表彰式が終わるまで帰ることができません。
-

■スリックタイヤの使用について

- スリックタイヤは使用することができません。使用可能タイヤはSタイヤまでです。(全クラス)
-

■ ポイントについて

- ポイントはドライバーではなくチーム車両に対して加算されます。
- 同じチーム内で1号車、2号車といった車両がある場合、それぞれの車両にポイントがつきます。
- チームで何台かお持ちで、1台のみエントリーされる場合、そのエントリーゼッケン車両にポイントが加算されます。
- 全戦参加のチーム車両には、トータルポイントに対して10ポイントが加算されます。
- シーズン途中でゼッケン、および、エントリー名、クラスの変更を行う場合、ポイントの引き継ぎはできません。

ポイント表

| | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1位 55ポイント | 11位 33ポイント | 21位 23ポイント | 31位 13ポイント |
| 2位 52ポイント | 12位 32ポイント | 22位 22ポイント | 32位 12ポイント |
| 3位 49ポイント | 13位 31ポイント | 23位 21ポイント | 33位 11ポイント |
| 4位 46ポイント | 14位 30ポイント | 24位 20ポイント | 34位 10ポイント |
| 5位 43ポイント | 15位 29ポイント | 25位 19ポイント | 35位 9ポイント |
| 6位 40ポイント | 16位 28ポイント | 26位 18ポイント | 36位 8ポイント |
| 7位 37ポイント | 17位 27ポイント | 27位 17ポイント | 37位 7ポイント |
| 8位 36ポイント | 18位 26ポイント | 28位 16ポイント | 38位 6ポイント |
| 9位 35ポイント | 19位 25ポイント | 29位 15ポイント | 39位 5ポイント |
| 10位 34ポイント | 20位 24ポイント | 30位 14ポイント | 40位 4ポイント |

- 完走車すべてに1ポイントが加算されます。

■ その他の注意事項について

- その他の注意事項がある場合は、イベントごとのインフォメーション、または受理証で確認してください。
- タイムスケジュールはイベントごとのインフォメーション、または受理証で確認してください。
- スプリントについての約束は別ページになりますので、よくお読みになってください。
- 車両より降ろした荷物などは、各自で管理をしてください。盗難、紛失の場合、事務局、および、オフィシャルでは責任を負うことができません。イベント開催中に、盗難や事故などが発生した場合は、すみやかに事務局へ連絡をしてください。
- パドック内やコース上における人身事故、物損事故について、事務局、オフィシャルでは責任を負うことができません。
- パドックやピットレーンには、エンタラントの応援の方や、小さなお子さんもいらっしゃいます。ピットレーンは制限速度を厳守し、パドックでは最徐行が義務であると心がけてください。
- お帰りの際はゼッケンを外し、ゴミなどはゴミ箱へ捨てるよう、ご協力をお願いします。
- ガードレールなどサーキットの設備に損害を与えてしまった場合、実費をお支払いいただくこととなりますので気をつけください。
- ご自宅に帰るまでがイベントです。安全運転でお帰りください。

■ リレー耐久について

- リレー耐久は基本的に1チーム3台/3人以上で実施。トランスポンダー(計測器)をタスキの代わりにします。
- 基本ルールは通常の耐久ルールに準じます。
- 車輛検査について
- 参加車輛は検査までにガソリン給油を済ませておいてください。また、テーピングその他の走行に必要な準備を済ませて、検査時間前には車輛のそばで待機してください。その際、ガソリン搭載量がわかる書類を必ずご用意ください。搭載量が確認できない、燃料メーターが動かない、メカがないのでよくわからない、メーターやモーターがたった今動かなくなってしまったのでわからない、など、搭載量の確認が取れない場合は、該当チームの周回数より5週の減算とします。1ペナルティにつき5周となりますので、2台の場合は10周減算、3台の場合は15周減算となります。
- 1走行あたりのガソリン搭載量は45L以下です。検査後の給油は厳重ペナルティ、または、失格になる場合があります。
- 全車ガソリンスタンド給油です。
- 1ドライバー走行時間内での給油は行えません。
- 前走の車輛がリタイヤした場合、その車輛の走行規定時間を消化したのち、次走車のスタートとします。1走行につき、15分以上50分以内で次の車輛にバトンを繋げねばなりません。よって、ピットアウトから15分を経過していれば、次の車輛をピットからスタートさせることができます。15分以下の場合は、15分経過後、次の車輛をスタートさせることができます。ただし、リタイヤ車輛からオフィシャルがトランスポンダーを回収し、次走車輛に装着が完了した後にスタートとします。
- チーム全体の周回数をもって着順を決定します。
- 同一チームの車輛は、同じナンバーのゼッケンをつけていただきます。ゼッケンは参加チームでの用意となります。
- ゼッケンは両サイドのドアとボンネット、リア(小さくても可)に必ず貼付けてください。ゼッケンの大きさなどは別ページで必ず確認をしてください。
- トランスポンダー受け渡し(タスキ渡し)
- トランスポンダー(タスキ)は1チームにつき、1台をお渡しします。
- ドライバー交替(車輛入れ替え)、トランスポンダー(タスキ)受け渡しはピットエリアで行います。ピットインしてくる前周に必ず近くのオフィシャルに申告してください。
- タスキ渡しは、次走車輛がエンジンを切った状態でピットレーンで待機、走行終了車輛がピットインし、ピット前で停止。タイヤを完全に停止させ、エンジンを切ってからドライバーが降車(ここまで連続走行時間となります)、タスキを車輛から外して、次走車輛に手渡しします。次走車輛は受け取ったタスキを規定通りに完全に取り付け、車輛に乗り込み、シートベルトを完全に締めてから、エンジンをスタートさせ、安全確認を行った後、スタートさせてください。タイヤが動いた時点から連続走行時間計測開始です。タスキの取り外し、取り付けをピットクルーが行う事ができます。その際、安全を確保した上で作業を行ってください。ドライバーの乗車、降車のヘルプもかまいません。ただし、ピットレーンに出られるのは、ドライバーを含めて最大5名までです。次走ドライバーは降車の状態で待機とします。
- クラッシュなどで前走車輛がピットに戻ってこられない場合は、トランスポンダーが回収されるまで次走車輛は走行を開始することができません。回収されたトランスポンダーは事務局テントでお渡しとなります。ただし、競技の進行状況やオフィシャルの車輛回収状況により、そのまま競技終了となってしまう場合があります。
- トランスポンダーの回収、および、車輛救出などの「お助け」は競技終了30分前までとなります。
- ペナルティが発生した場合、タイミングにより該当車輛以外のチーム車輛にかせられる場合があります。
- ドライバー交代は、必ずチームの責任者が管理をし、競技終了後、トランスポンダーと共に必ず事務局に提出してください。提出がない場合は失格になる場合があります。連続走行時間計測はチーム内で確実に行ってください。
- 1車輛が2走行以上する予定のチームは必ず申請してください。
- 全車に給油許可シールを車輛の見やすい位置に貼らせていただきます。